

道路規制図の作成

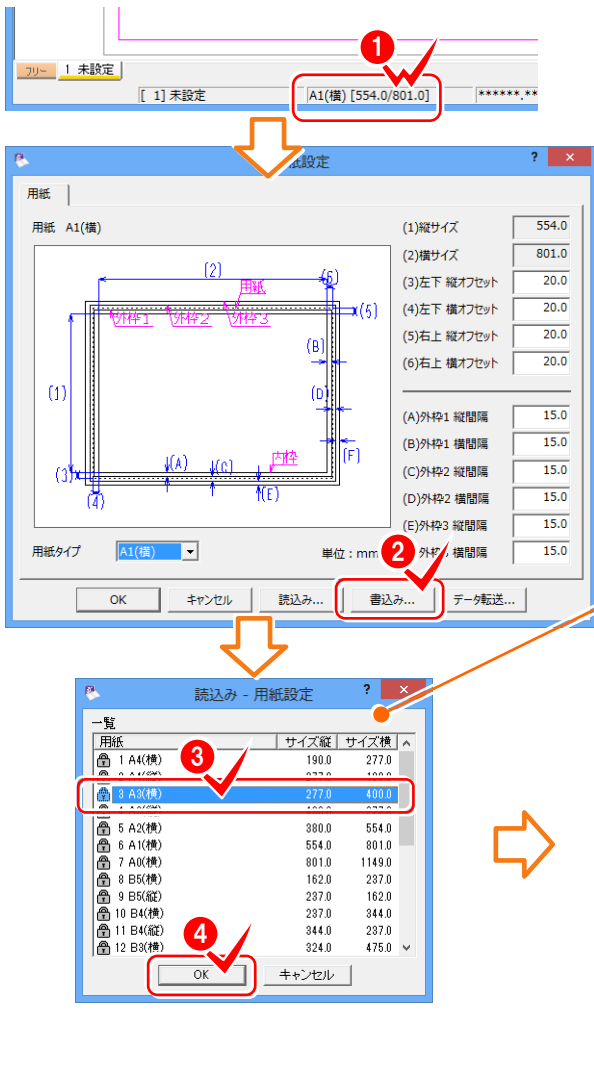
本書では、道路規制図の作成方法をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

1. 用紙を設定する.....	1
2. 縮尺を設定する.....	1
3. 入力単位を設定する.....	2
4. 線を入力する.....	2
5. 道路の隅切りを入力する.....	4
6. 施工箇所を入力する.....	5
7. 寸法線を入力する.....	7
8. 文字を入力する.....	9
9. 引き出し線を入力する.....	10
10. 重機を入力する.....	11
11. 方位を入力する.....	13
12. 表を作成する.....	14
13. 図面を保存する.....	16
14. 図面を印刷する.....	16

1 用紙を設定する

用紙を設定します。ここでは「A3(横)」に設定します。

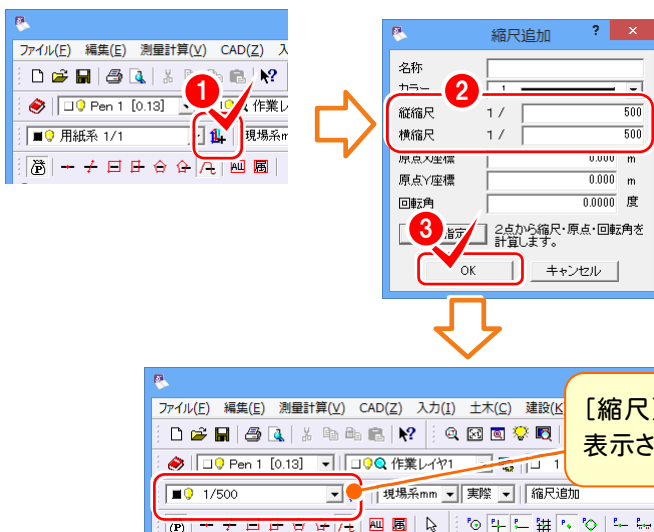


- 1 画面下に表示されている用紙サイズをダブルクリックします。(1)
- 2 「読み込み」をクリックします。(2)
- 3 「3 A3(横)」をクリックして、[OK]をクリックします。(3 4)
- 4 [OK]をクリックします。(5)

読み込む設定ファイルには2種類あります。
Noに が付いている設定ファイルはインストールで組み込まれる設定ファイルです。ファイルそのものを更新することはできません。
Noのみのファイルは[書込み]で書き込んだ設定ファイルです。ファイルそのものを更新することが可能です。

2 縮尺を設定する

縮尺を設定します。ここでは「1/500」を設定します。

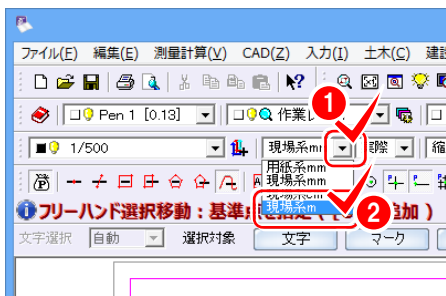


- 1 「設定:縮尺追加」のアイコンをクリックします。(1)
- 2 「縦縮尺」「横縮尺」に「500」と入力して、[OK]をクリックします。(2 3)

「縮尺」に追加した縮尺が表示されます。

3 入力単位を設定する

入力単位を設定します。ここでは「現場系m」に設定します。



- 1 [入力単位]の[▼]をクリックして「現場系m」を選択します。(1 2)

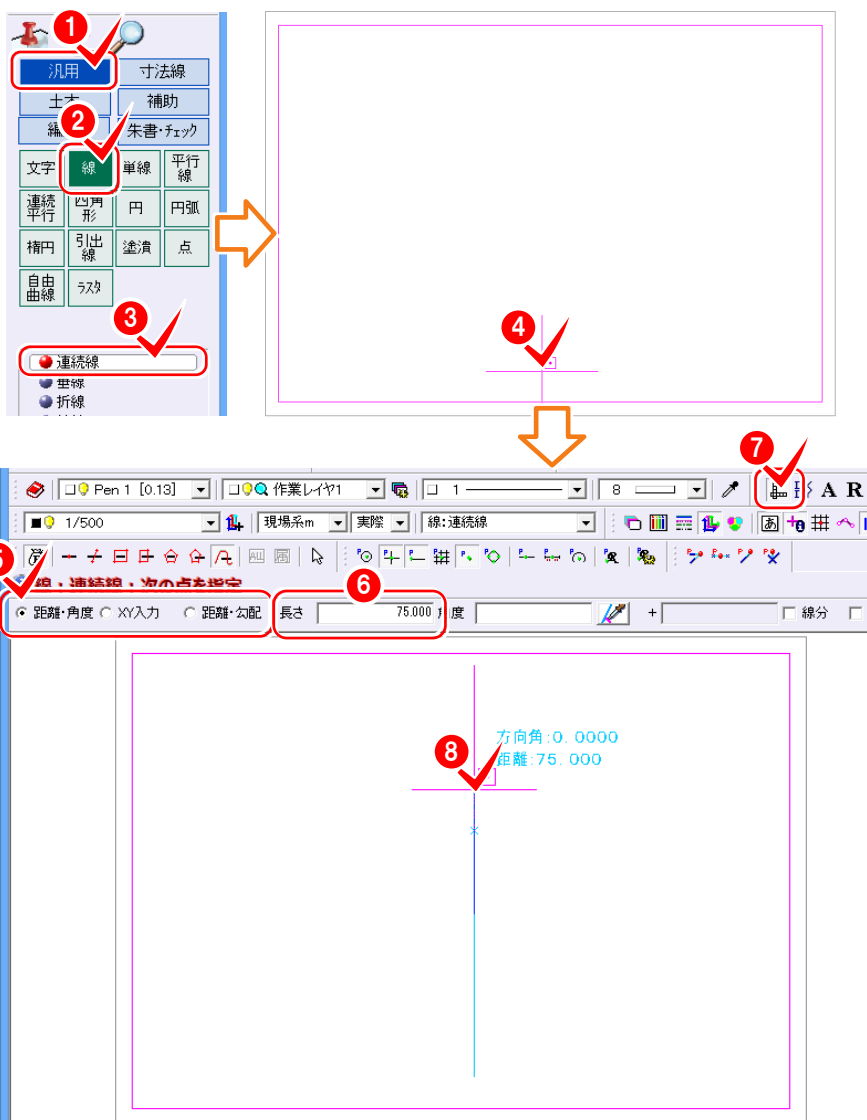
Point 入力単位

用紙系 mm 縮尺を考慮しない(1/1)値で入力します。
 現場系 mm 縮尺を考慮した mm 単位の値で入力します。
 現場系 cm 縮尺を考慮した cm 単位の値で入力します。
 現場系 m 縮尺を考慮した m 単位の値で入力します。

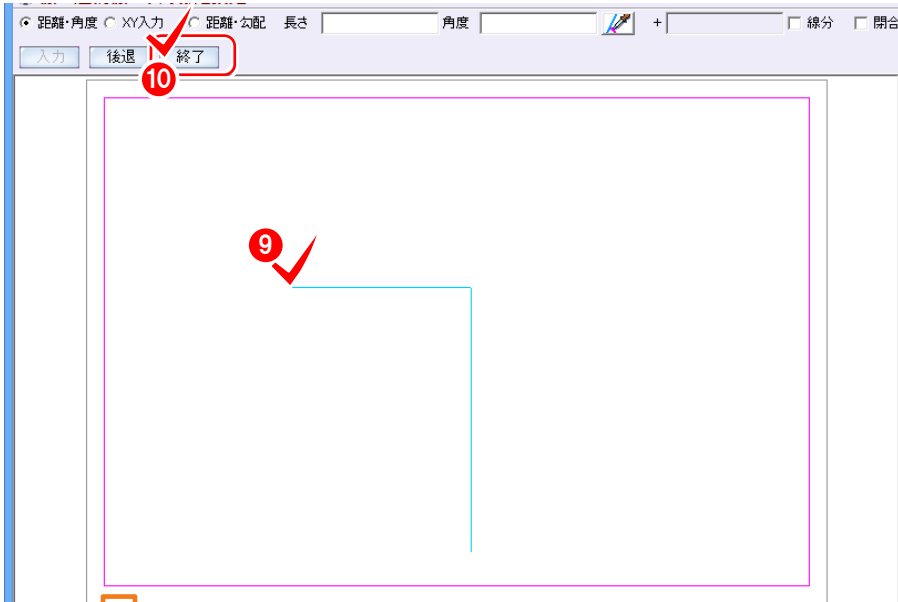
[設定]-[丸め設定]コマンドで、mm単位、m単位それぞれの丸め設定を読み込むことができます。

4 線を入力する

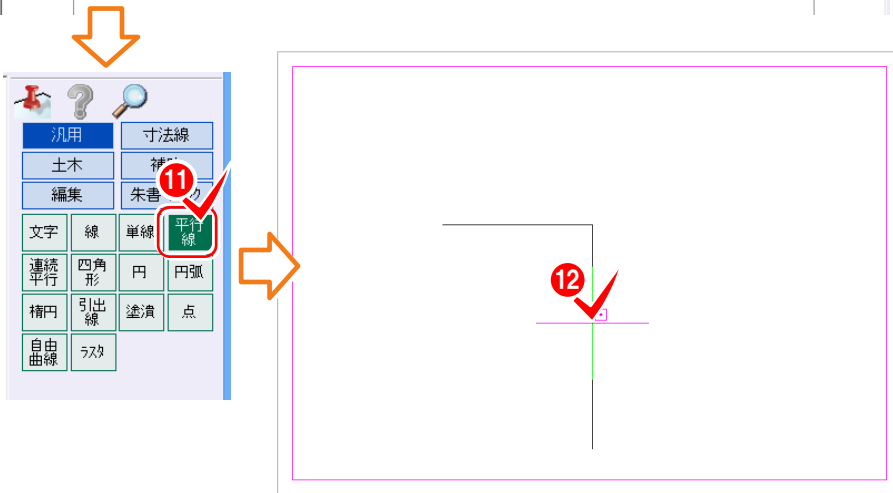
[汎用]-[線]-[連続線]コマンド、[汎用]-[平行線]コマンドを使用して、線を入力します。



- 1 [汎用]-[線]-[連続線]をクリックします。(1 2 3)
- 2 線の開始点をクリックします。(4)
- 3 [距離・角度]をクリックして、[長さ]に「75」と入力します。(5 6)
- 4 入力例では、まっすぐな線を入力するので、[設定:入力モード:ドラフタ]のアイコンをオンにして、次の点をクリックします。(7 8)

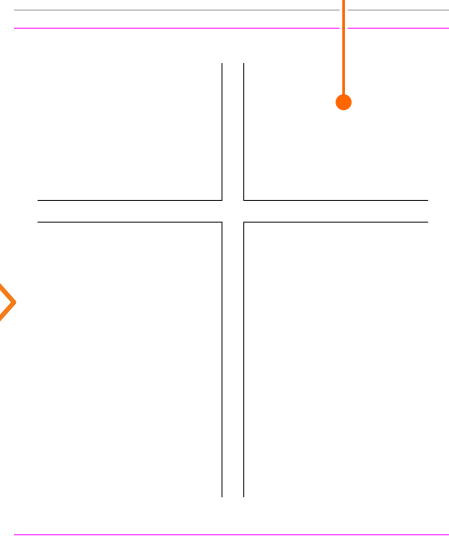
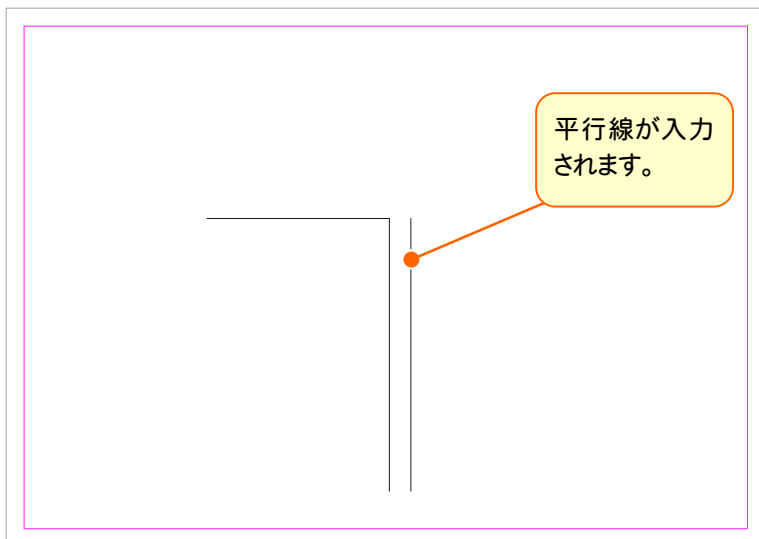


- 5 続けて、次の点をクリックします。(9)
- 6 線の入力を終了したら、[終了]をクリックします。(10)
- 7 [平行線]をクリックします。(11)
- 8 基準となる線をクリックします。(12)
- 9 [単独入力]をクリックし、[方向]、[移動量]を指定して、[入力]をクリックします。(13 14 15 16)
- 10 [終了]をクリックします。(17)



同様の操作を繰り返して下図のように他の線を入力します。

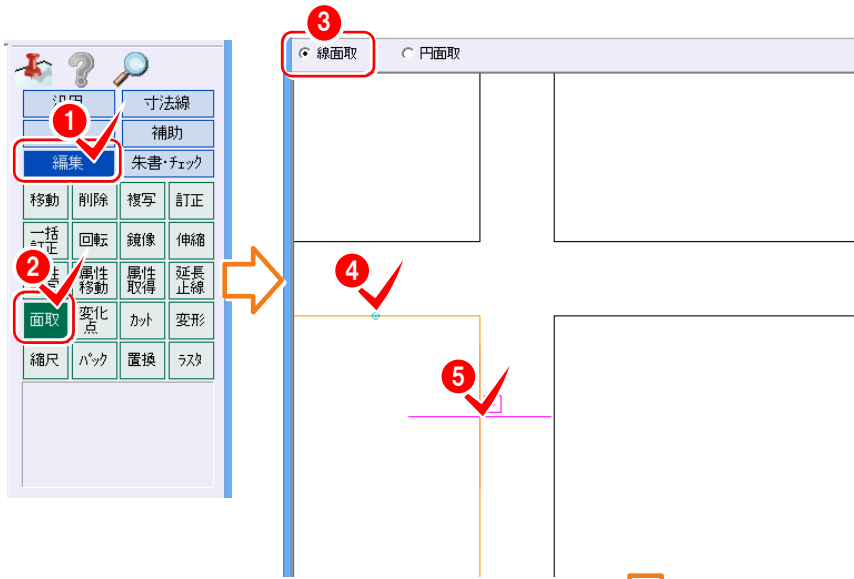
自由な方向に線を入力したいときは、[設定：入力モード：ドラフト]のアイコンをオフにします。



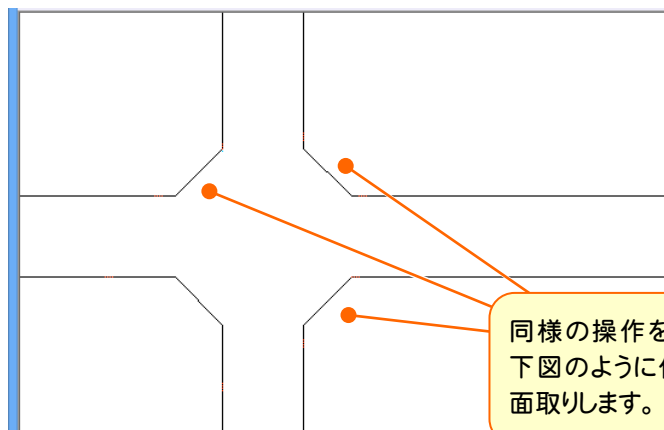
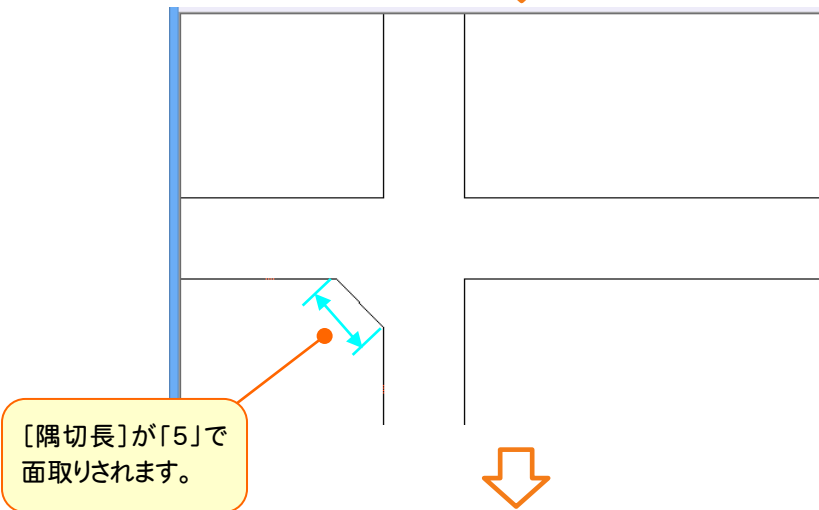
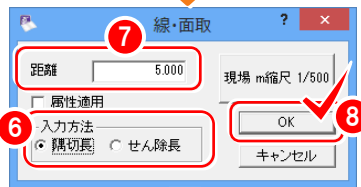
5

道路の隅切りを入力する

[編集]-[面取]コマンドを使用して、道路の隅切りを入力します。

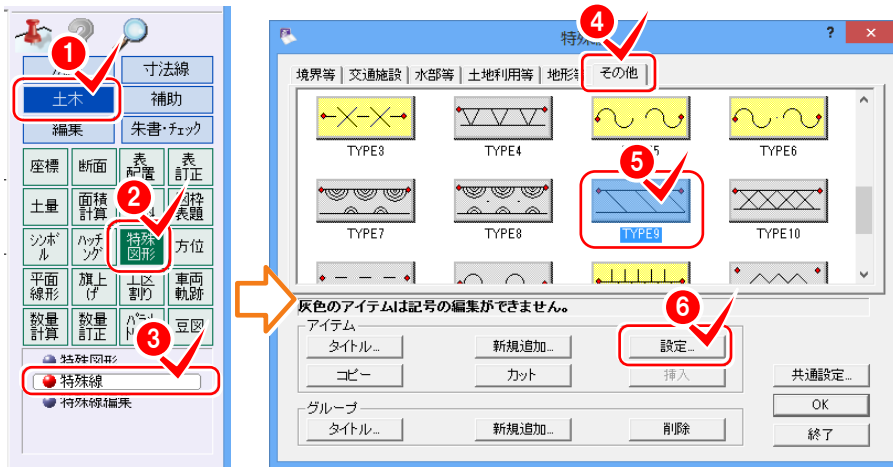


- 1 [編集]-[面取]をクリックします。(1 2)
- 2 [線面取]が選択されていることを確認して、面取りしたい2つの辺をクリックします。(3 4 5)
- 3 [隅切長]が選択されていることを確認し、[距離]に「5」と入力して、[OK]をクリックします。(6 7 8)

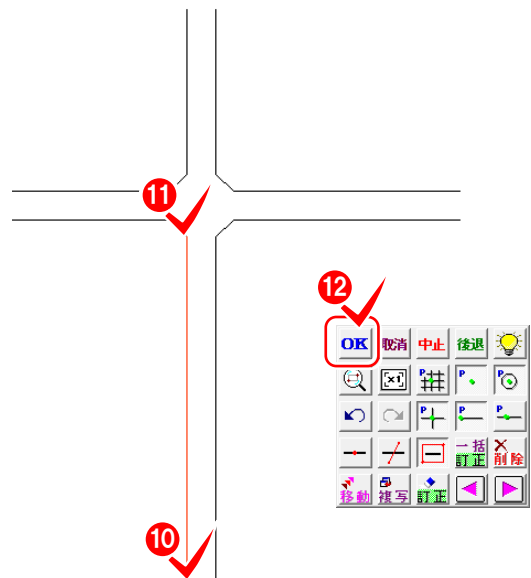
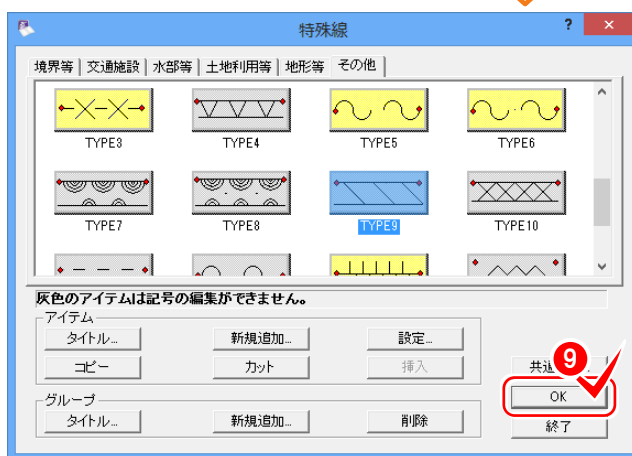
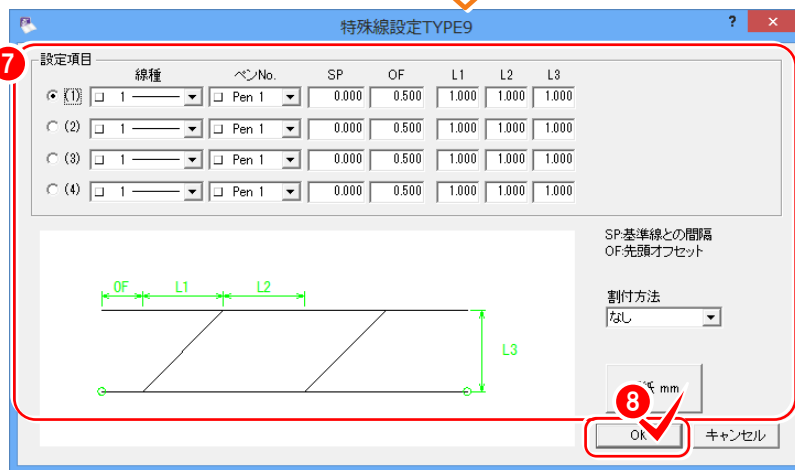


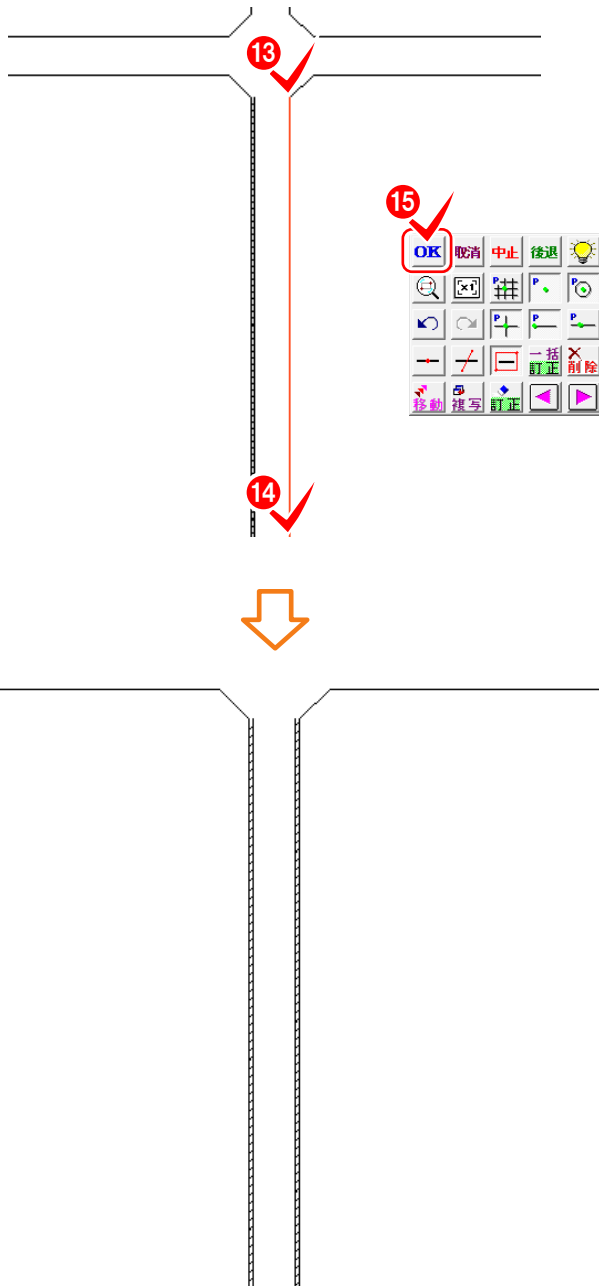
6 施工箇所を入力する

[土木] - [特殊図形] - [特殊線] コマンドを使用して、施工箇所を入力します。

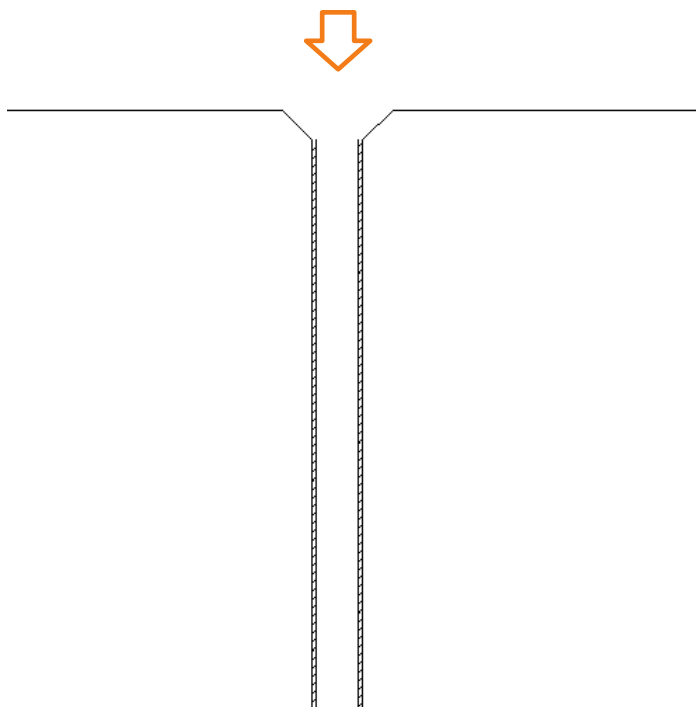


- 1 [土木] - [特殊図形] - [特殊線] をクリックします。(1 2 3)
- 2 [その他] をクリックし、[TYPE9] を選択して、[設定] をクリックします。(4 5 6)
- 3 特殊線の線種、ペンNo、間隔などを設定して、[OK] をクリックします。(7 8)
- 4 [OK] をクリックします。(9)
- 5 施工箇所の範囲を指定します。(10 11)
- 6 指定を終了したら、右クリックして、[OK] をクリックします。(12)



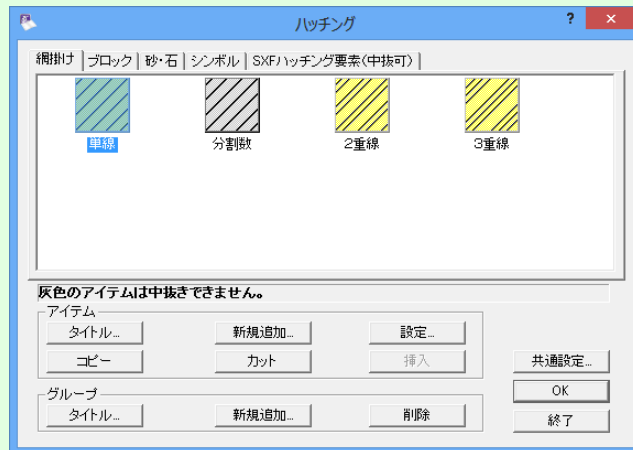


7 同様の操作を繰り返して、道路の反対側に施工箇所を入力します。
(13 14 15)



Point

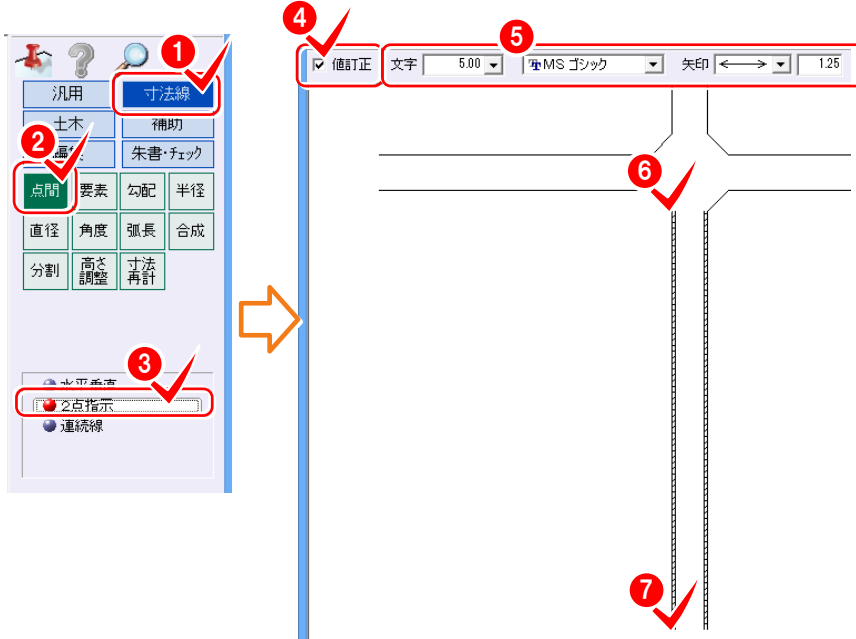
もちろん、[土木]-[ハッチング]コマンドを使用して入力することもできます。



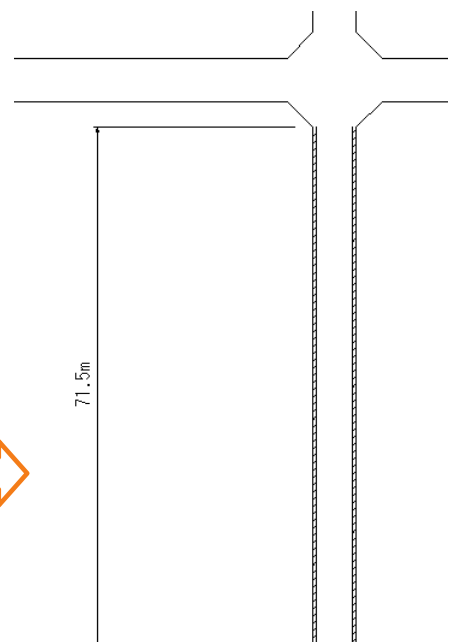
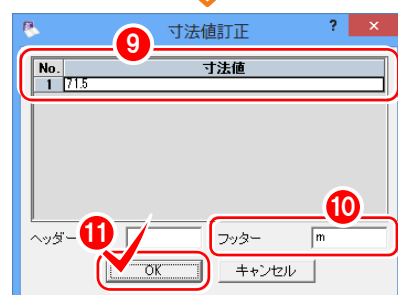
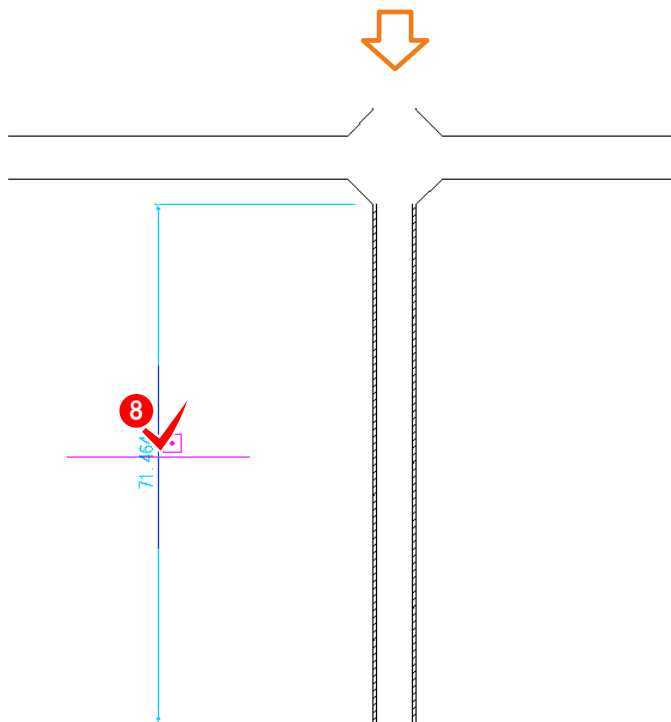
7

寸法線を入力する

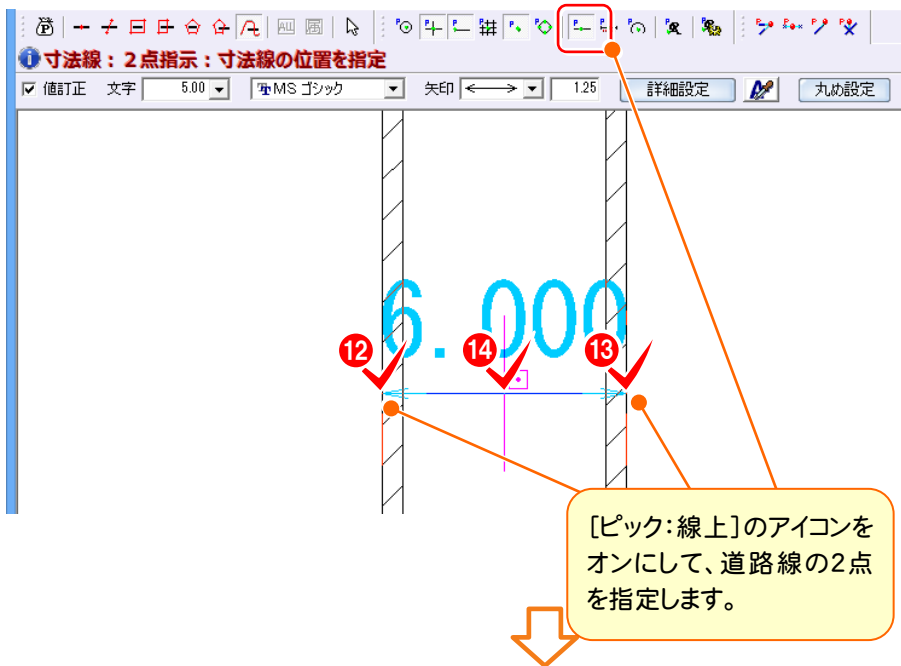
[寸法線]-[点間]-[2点指示]コマンドを使用して、寸法線を入力します。



- 1 [寸法線]-[点間]-[2点指示]をクリックします。(1 2 3)
- 2 インputバーの[値訂正]のチェックをオンにし、寸法値の大きさや矢印などを設定します。(4 5)
- 3 寸法を出す2点(入力例では、施工箇所の開始点と終了点)をクリックします。(6 7)
- 4 寸法線の配置位置をクリックします。(8)
- 5 [寸法値]に「71.5」、[フッター]に「m」と入力して、[OK]をクリックします。(9 10 11)

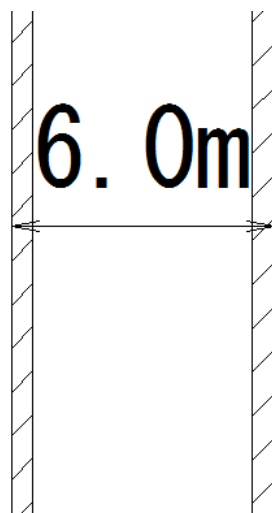
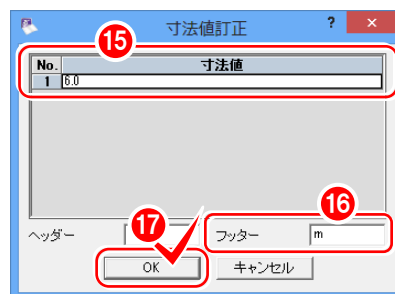


● 道路規制図の作成



6 続けて道路の寸法を入力します。道路線を指定して、配置位置をクリックします。(12 13 14)

7 [寸法値]に「6.0」、[フッター]に「m」と入力して[OK]をクリックします。(15 16 17)



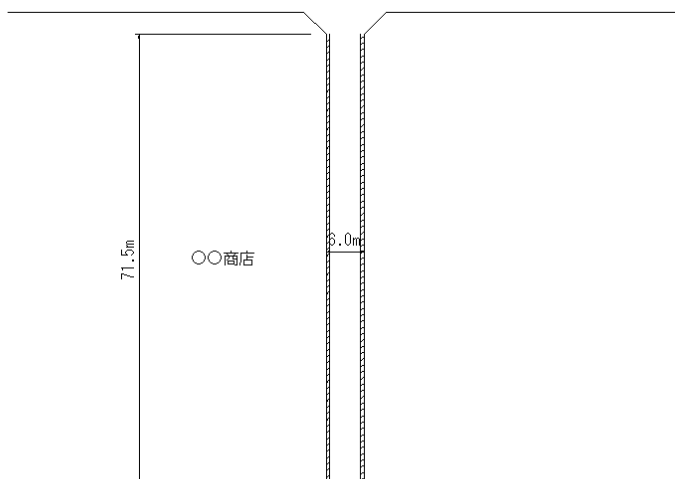
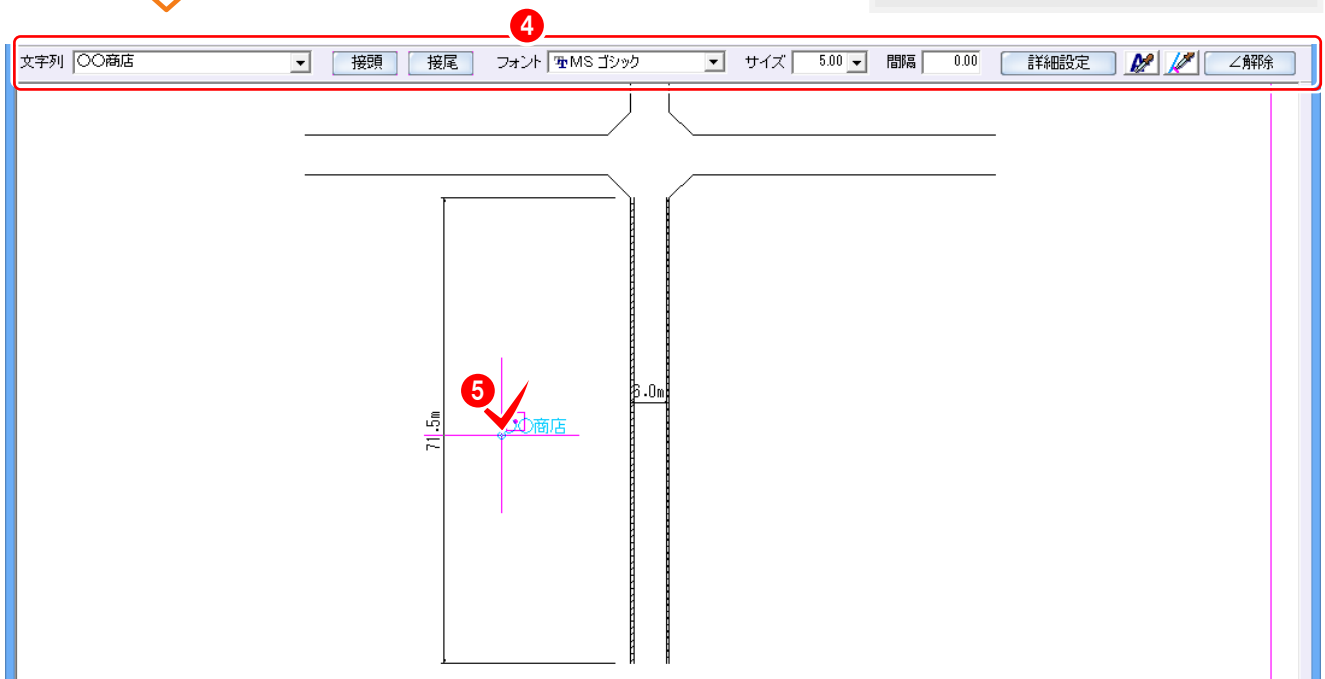
8

文字を入力する

[汎用]－[文字]－[文字列]コマンドを使用して、文字を入力します。



- 1 [汎用]－[文字]－[文字列]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 インputバーの[文字列]に「〇〇商店」と入力して、フォント、サイズなどを設定します。
(④)
- 3 文字列の配置位置をクリックします。(⑤)



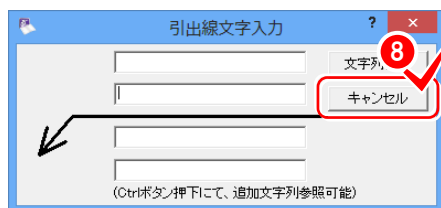
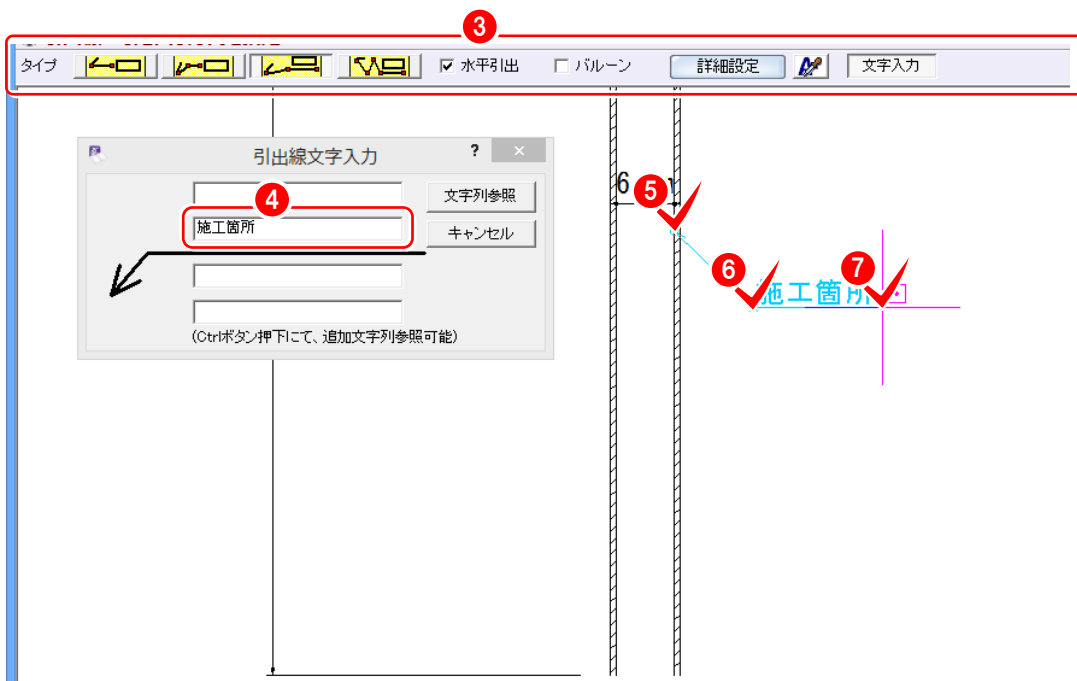
9

引き出し線を入力する

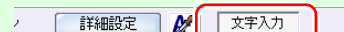
[汎用]－[引出線]コマンドを使用して、引き出し線を入力します。



- 1 [汎用]－[引出線]をクリックします。(1 2)
- 2 タイプなどを設定します。(3)
- 3 引き出し線の文字列を入力します。(4)
- 4 引き出し線の始点、折れ点、終点をクリックします。(5 6 7)
- 5 [キャンセル]をクリックします。(8)

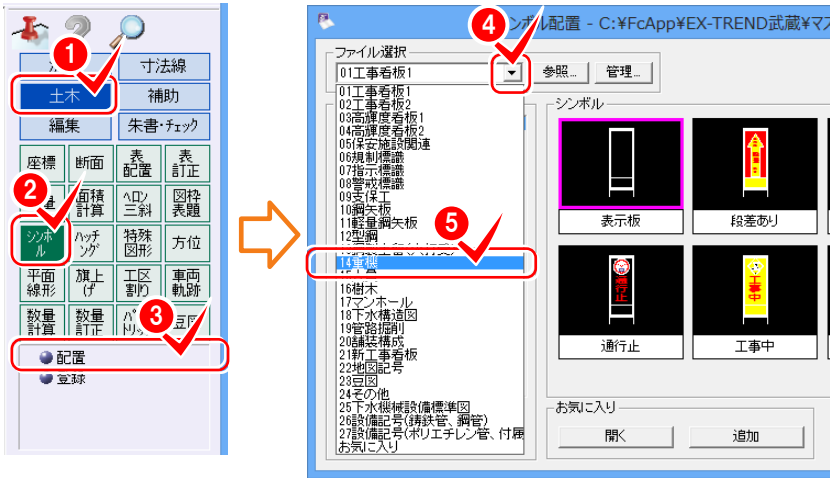


Point [引出線文字入力]ダイアログが表示されない場合は、インプットバーの[文字入力]をクリックしてオンにしてください。

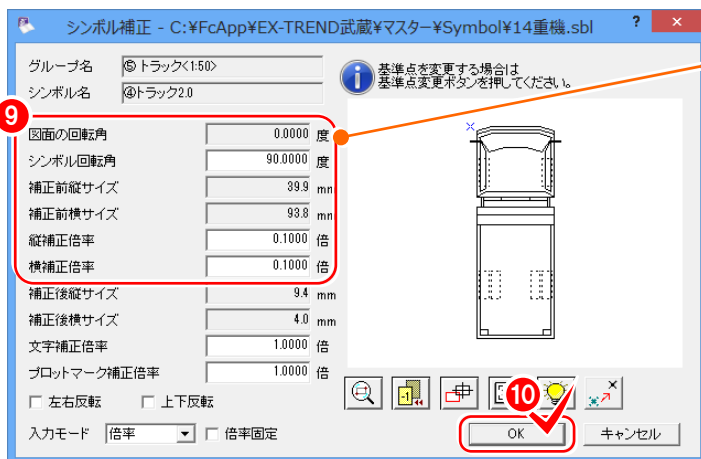
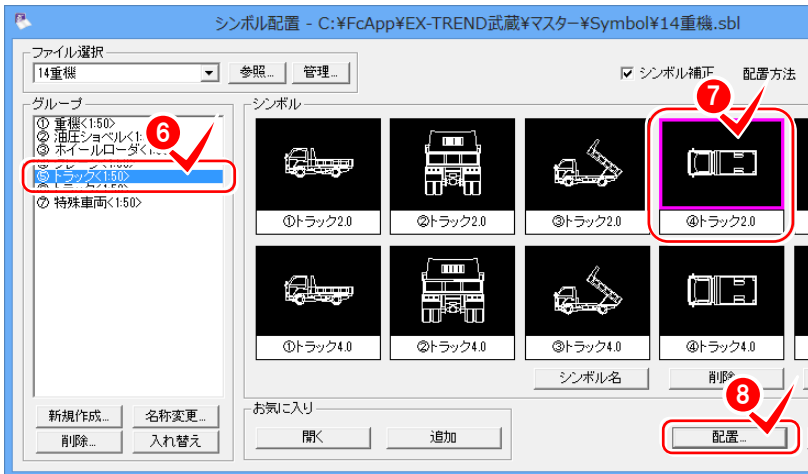


10 重機を入力する

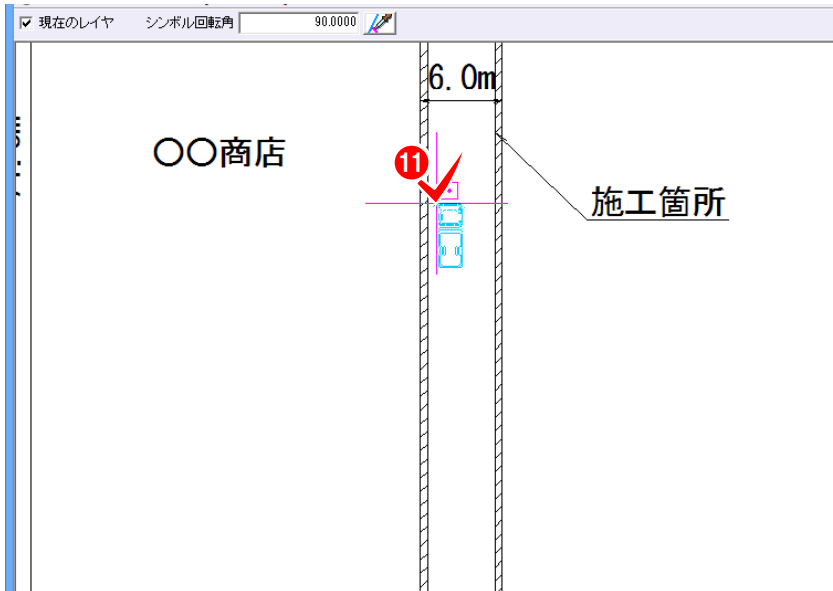
[土木]—[シンボル]—[配置]コマンドを使用して、重機を入力します。



- 1 [土木]—[シンボル]—[配置]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 [ファイル選択]の横の[▼]をクリックして、「14重機」をクリックします。(④ ⑤)
- 3 配置するシンボルを選択して、[配置]をクリックします。
(⑥ ⑦ ⑧)
- 4 [シンボル回転角][縦補正倍率][横補正倍率]などを入力して、[OK]をクリックします。(⑨ ⑩)



入力例では[シンボル回転角]に「90」、
[縦補正倍率][横補正倍率]に「0.1」と
入力します。



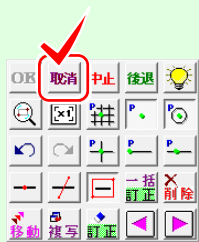
- 5 配置位置をクリックします。
(11)
- 6 シンボルの配置を終了したら、右クリックして[中止]をクリックします。(12)



Point

続けて別のシンボルを配置する場合は

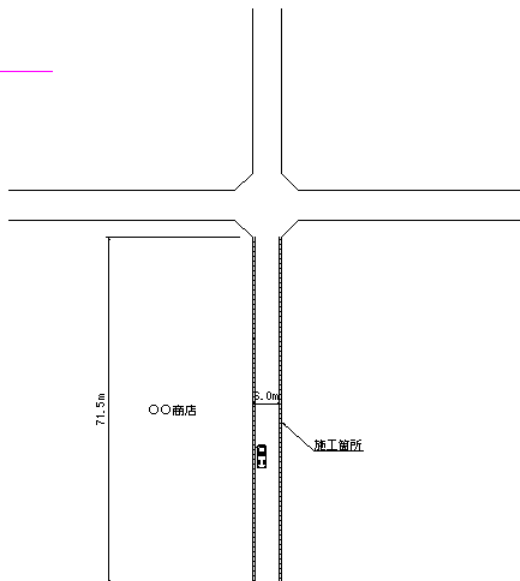
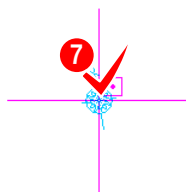
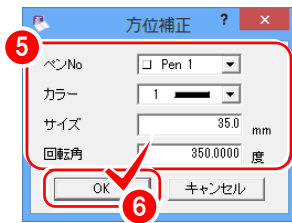
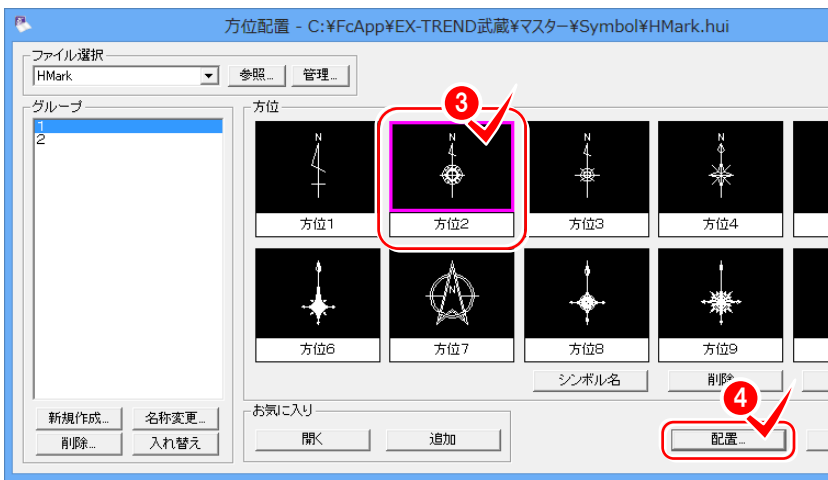
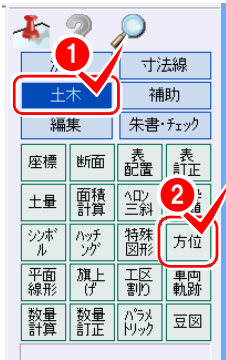
右クリックして[取消]をクリックすると、[シンボル入力]ダイアログへ戻りますので、続けてシンボルを配置することができます。



11

方位を入力する

[土木] - [方位]コマンドを使用して、方位を入力します。

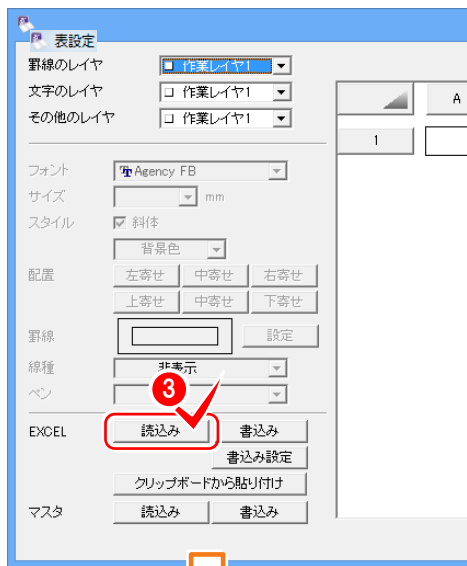
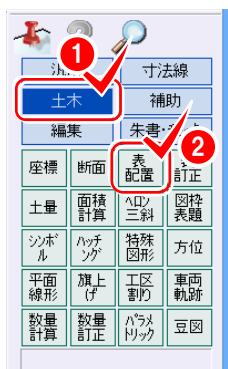


- 1 [土木] - [方位]をクリックします。(1 2)
- 2 方位マークを指定して、[配置]をクリックします。(3 4)
- 3 方位のサイズ、回転角などを設定して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 方位の配置位置をクリックします。(7)

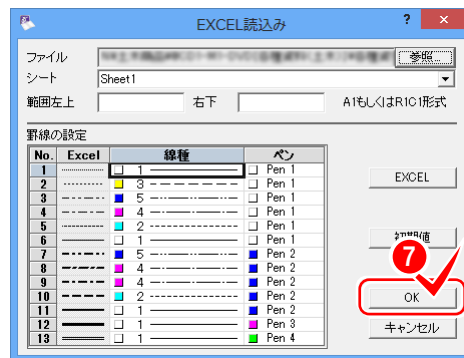
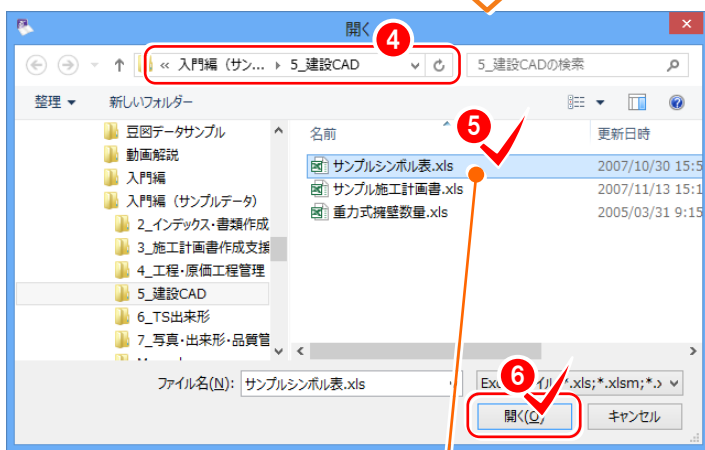
12

表を作成する

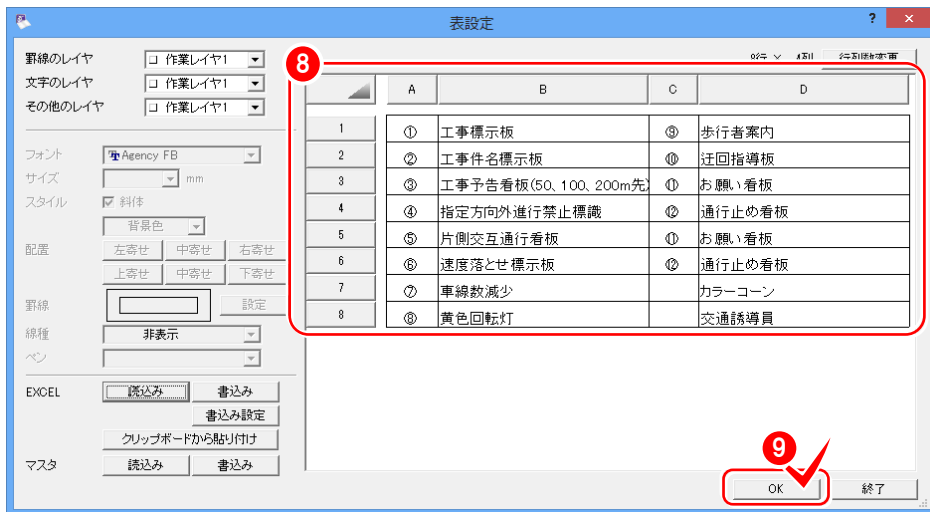
[土木]-[表配置]コマンドを使用して、EXCELで作成した表を取り込みます。



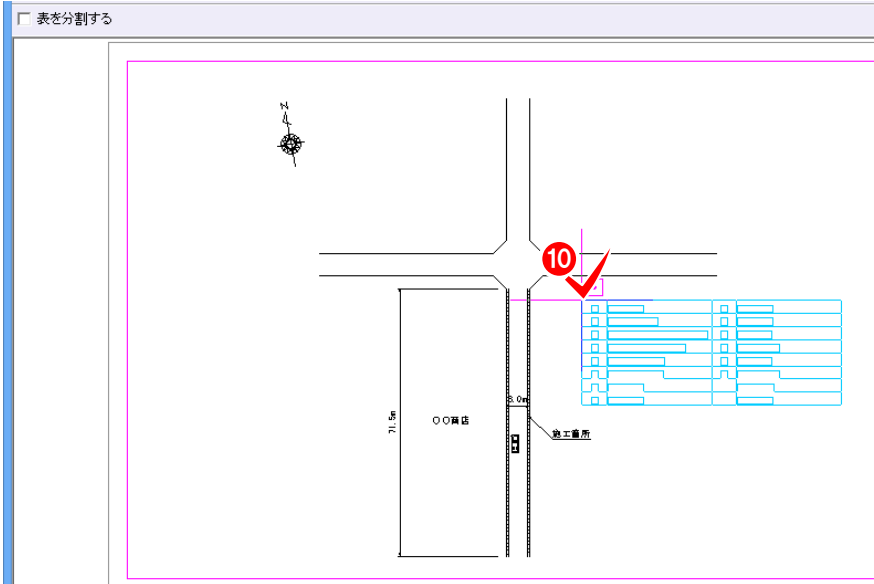
- 1 [土木]-[表配置]をクリックします。(1 2)
- 2 [EXCEL]の[読み込み]をクリックします。(3)
- 3 フォルダ、ファイルを選択して、[開く]をクリックします。(4 5 6)
- 4 読み込むシートなど各種設定を確認して、[OK]をクリックします。(7)
- 5 表の内容を確認して、[OK]をクリックします。(8 9)



本書では「¥ FcApp ¥各種資料(土木)¥武蔵 ¥入門編(サンプルデータ)¥5_建設CAD」フォルダの中の「サンプルシンボル表.xls」を選択します。



この位置でマウスをドラッグして、ダイアログを広げることができます。

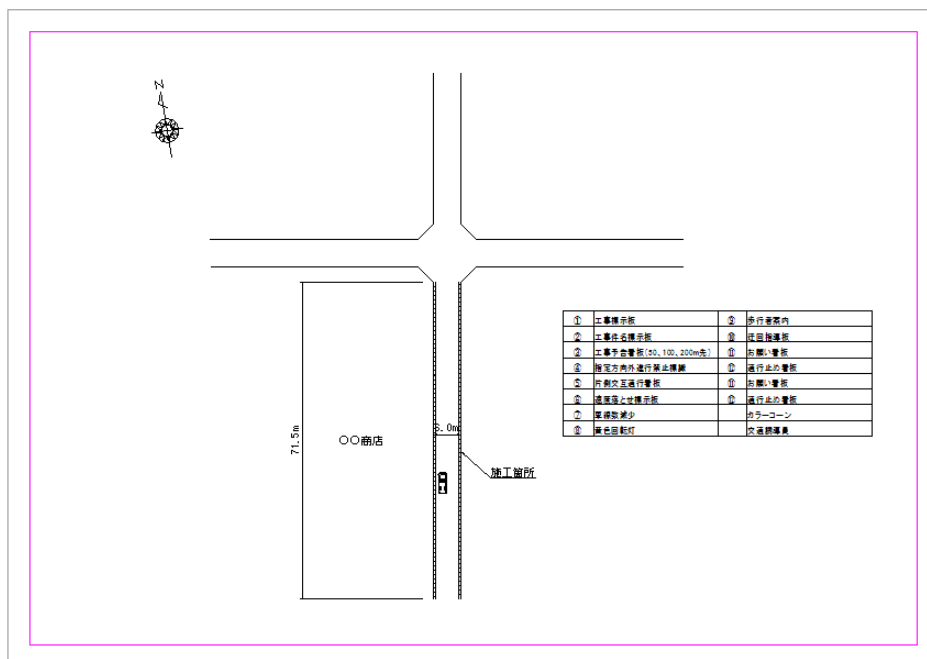


6 表の配置位置をクリックします。(10)

7 [終了]をクリックします。(11)

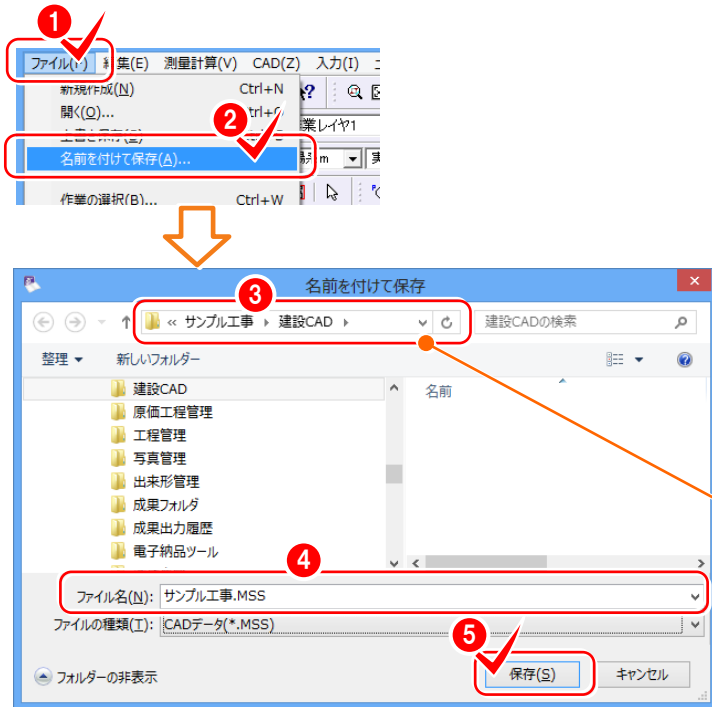
読み込まれたEXCELの内容に準じた表がCADデータとして配置され、連続して表を配置できるように、再度[表設定]ダイアログへ戻ります。

入力例では、表配置処理を終了するので、[終了]をクリックします。



13 図面を保存する

[ファイル]－[名前を付けて保存]コマンドを使用して、図面を保存します。

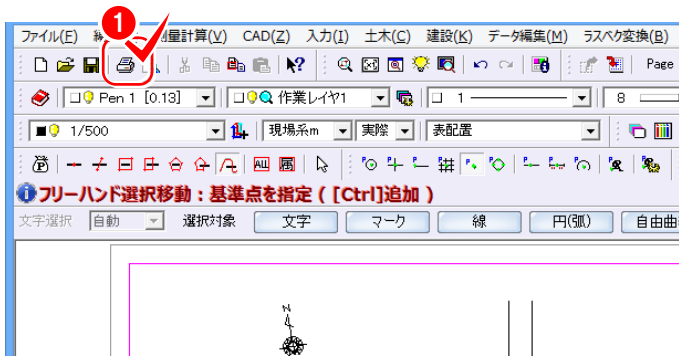


- 1 [ファイル]－[名前を付けて保存]をクリックします。
(① ②)
- 2 保存する場所を指定し、ファイル名を入力して、[保存]をクリックします。
(③ ④ ⑤)

[建設CAD]を単独で起動した場合は、[インデックス]から起動した場合とデータの保存場所が異なるので注意してください。

14 図面を印刷する

[印刷]のアイコンを使用して、図面を印刷します。



- 1 [印刷]のアイコンをクリックします。(①)
- 2 プリンター、印刷範囲、印刷部数などを設定して[OK]をクリックします。(② ③)

